

## ■ちーびし

## ○執筆者紹介

①生年・出身地, ②所属, ③専門領域, ④研究業績, ⑤奄美と関係した活動の順番で掲載しております。

## ■木部 暢子 (きべ のぶこ)

- ① 1955年・福岡県
- ② 法文学部人文学科人間科学論講座教授
- ③ 言語文化論
- ④ 『鹿児島県のことば』明治書院, 1997年  
『西南部九州二型アクセントの研究』勉誠出版, 2000年  
「島が残した古態」大修館書店『月刊言語』33-1, 2004年
- ⑤ 平成15年度公開講座「日本の方言・奄美の方言」担当

## ■萩野 誠 (はぎの まこと)

- ① 1959年・福岡県
- ② 法文学部経済情報学科経営情報講座教授
- ③ 経営情報論
- ④ 『情報技術と差別化経済』九州大学出版会, 2003年  
『鹿児島の経営者にみる成功の法則』南日本出版社, 2003年

## ■采女 博文 (うねめ ひろふみ)

- ① 1952年・鹿児島
- ② 鹿児島大学法科大学院教授
- ③ 民法学
- ④ 「いじめ裁判と安全配慮義務・報告義務」鹿大法学論集39巻1号, 2005年。「入会権の全員一致原則の機能」鹿大法学論集38巻1・2号, 2004年
- ⑤ 本プロジェクト事務局

## 《書籍紹介》

○九州大学出版会より, 島嶼研究に関する本が出版されました。

『奄美の多層圏域と離島政策—島嶼圏市町村分析のフレームワーク』山田 誠〔編著〕, 九州大学出版会, 2005年

## 〈目次・執筆者〉

はしがき

## 第1章

岐路に立つ奄美と新しい島嶼研究アプローチ／山田 誠

## 第2章

離島における市町村合併の政治力学／平井一臣

## 第3章

奄美の市町村財政と地方交付税／朴 源

## 第4章

奄美振興開発事業と建設業／田島康弘

## 第5章

奄美の農業と農協合併／北崎浩嗣

## 第6章

奄美の物流と流通コスト／山本一哉

## 第7章

市町村合併と群島内の経済モデル／萩野 誠

## 第8章

奄美の出産と育児に関する地域・家族研究／片桐資津子

## 第9章

持続的・自立的社会の創造に向けて／皆村武一

## 第10章

奄美の地域振興と文化／山田 誠

## ○編集後記

- 今回の表紙写真は、奄美の風景です。竹村 剛さん（大学院人文社会科学  
研究科地域政策科学専攻）が、梅雨の晴れ間を利用して、撮影してください  
ました。ありがとうございます。

向かって左側より、ホノホシ海岸・大島海峡・古仁屋の市街地です。玉石  
で形成された瀬戸内町のホノホシ海岸と、大島海峡の写真は、海の青色が非  
常に美しいです。瀬戸内町の古仁屋は、奄美大島南部の拠点。同じ島のなか  
でも、それぞれの地域・町は独特の雰囲気をもっています。

- 地域政策科学専攻（博士後期課程）の発行する紀要『地域政策科学研究』  
への投稿を目指して、今年も多くの院生が論文を執筆しています。8月末日  
の提出締切後、審査を経て、掲載論文が決定されます。夏季休業中も研究に  
励む院生の姿を目にする度に、どの論文が掲載されてもおかしくない気がし  
ます。

9月に入ると、1・2年生は「プロジェクト研究」に本格的に取り組むこ  
とになります。今年はどんな研究になるのでしょうか。楽しみです。（今徳）

研究責任者 山田 誠  
奄美ニューズレター  
発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠  
AMAMI News Letter  
発行日 2005年9月9日